



**JSB 1000 RACE** REPORT & INTERVIEW

## 中須賀克行が追い上げのレースを見せ優勝を飾る!

2012年シーズンの全日本ロードレース選手権は、栃木県・ツインリンクもてぎで開催された。JSB1000クラスは、ディフェンディングチャンピオンの秋吉耕佑が木曜日の特別スポーツ走行で転倒。左足大腿骨と頸骨を骨折してしまう。このため開幕戦はもちろん、第2戦鈴鹿も欠場が決定的となってしまった。秋吉は、第3戦筑波での復帰を目指すと言う。

秋吉不在となったレース。好スタートを見せたのは、セカンドグリッドからスタートした加賀山就臣だった。ポールポジションの高橋巧はやや遅れ2番手で1コーナーに入っていく。以下、柳川明、中須賀克行、芹沢太麻樹、山口辰也と続いていく。事前テストから好調を持続している高橋は、3コーナーですぐさま加賀山のインを突き、前に出るが、加賀山も意地を見せ5コーナーで抜き返す。しかし、早く前に出て逃げたい高橋は、ダウンヒルストレートで再び加賀山をかわすと、2周目から1分49秒台を連発し、独走態勢を築いていく。その後方では、加賀山が中須賀と柳川を抑え、3台での2番手争いを展開。

早く加賀山をかわしたい中須賀だったが、加賀山もブレーキングで粘り、そう簡単に前に出してくれない。しかし、5周目の1コーナーから2コーナーにかけてインに入り、加

賀山を攻略した中須賀は、ようやく2番手に浮上。この時点で高橋との差は、約7秒もあったが、あきらめずに追撃態勢に入った。柳川も続いて加賀山をかわしたいところだったが、加賀山攻略に9周目までかかってしまう。

一方、トップを独走していた高橋だったが、ペースが落ちてくる。10周目には、高橋と中須賀の差は約4秒、12周目には、V字コーナーでニュートラルに入ってしまうオーバーランし、13周目に入った時点で、その差は約2秒。逃げる高橋に、追う中須賀、その前方には、バックマーカーが4台現れる。このバックマーカーを利用し、再び差をつけたいと思っていた高橋だったが、逆に、ちょうどビクトリーコーナーで引っかかってしまう。そして14周目に入った時点で、その差は、0.2秒とついにテール to ノーズとなる。厳しい状態となっていた高橋は、最終コーナーで加速がにぶってしまう。このすきを中須賀は見逃さず、ホームストレートで高橋をかわしトップに浮上する。

中須賀は、ここから1分49秒台をマーク、自己ベストを更新する走りを見せる。この中須賀のペースに高橋は、ついていくことができず一気に離されてしまう。中須賀は、その後も安定したペースで走りきり、トップでチェッカー。うれしい開幕戦優勝を飾った。

高橋は、悔しい2位フィニッシュ。3位に柳川が入り、4位に加賀山と続いた。

5位に山口辰也、6位に芹沢太麻樹、7位に須貝義行、8位に片平亮輔、9位に中村知雅、10位に山中正之、11位に藤田拓哉、12位に須磨貞仁が入った。







スタートは加賀山就臣飛び出す

#87柳川明と#71加賀山のバトル



前半はトップ独走の高橋 巧

中須賀克行が大逆転



**JSB 1000 RACE** REPORT & INTERVIEW

**ライダーインタビュー**



**2位 高橋 巧**

オープニングラップで前に出て1分49秒台で走り始めたところまでは、予定通りだったのですが、すぐに厳しい状態になってきていました。中須賀さんとの差が出ていたので“これは難しいかな”と思っていました。抜かれてからは、とにかく転倒しないで走るのが精一杯という感じで、最終ラップの2コーナー立ち上がりでは、転びそうになっていました。悔しいレースになってしまいましたが、2位でゴールできたので、この悔しさを次回鈴鹿で晴らしたいですね。

**優勝 中須賀 克行**

今回は開幕戦ということもあり、久しぶりのレースでしたし、タイヤがブリヂストンになって初めてだったので、スタートはすごく緊張しましたね。確かにMotoGPはブリヂストンですが、JSBでは乗ってなかったので、すごく不安がありました。(加賀山)就臣さんを抜くのに時間がかかってしまい、すごく(高橋との)差があったのですが、焦らずに走ることに集中していました。マシンの仕上がりは、まだ60%というところでしたし勝るとは思っていませんでした。今年は、タイヤを替えたことで、周りの期待が大きくてプレッシャーに押しつぶされそうになったけれど、最終的には、プッシュして勝つことができたので、すごくうれしいです。

**3位 柳川 明**

スタートは、普通だったのですが、周りがよくなかったみたいですね。最初は、加賀山くんが、中須賀くんとボクを抑える形になっていました。中須賀くんが、早くかわしていくかと思ったのですが、苦戦していましたね。中須賀くんが、加賀山くんの前に出たので、ボクも前にいきかけたのですが、ボクもペースが上げられなくなって(加賀山をパスするのに)時間がかかってしまった。去年に比べれば、マシンはすごくいい状態なので、ボクの頑張りが必要ませんでした。今回は、もっと上でゴールしたいですね。